

コロナ禍を乗り越え 新しい地方自治のあり方を考える

世界的な大流行(パンデミック)となったコロナ禍で明らかになった教訓は、国からの指示による一律の対策でなく、地域の実情に合った柔軟できめ細かな対策が必要だということです。そのための独自の対策ができる地方自治体の役割の重要性であり、新自由主義政策による行政改革で脆弱になった公衆衛生など地方自治体の体制の強化とそのため財源保障です。

「とちぎ自治白書2020」は、こうした立場からコロナ禍を乗り越え栃木の新しい地方自治のあり方を提言することを目的に出版しました。

この集いでは、白書執筆者の報告をもとに、栃木の新しい地方自治のあり方を考えます。

❖と き 10月18日(日) 13:30

❖ところ 宇都宮市文化会館 第一会議室
(宇都宮市明保野町 7-66 TEL. 028-636-2121)

❖参加費 無料

🔹 基調報告 (13:30~14:30)

「新型コロナの教訓と新常態をめぐる地域のあり方と課題」

❖ 報告 太田 正 氏

(とちぎ地域・自治研究所理事長、作新学院大学名誉教授)

(15日発売)

コロナ禍を乗り越え
新しい地方自治の
あり方を考える とちぎ自治白書2020



🔹 報告と討論 (14:40~16:00)

「コロナ禍を乗り越え新しい地方自治のあり方を考える」

「とちぎ自治白書 2020」の執筆者からの報告と討論

主催 とちぎ地域・自治研究所

【連絡先】〒321-0218 壬生町落合 1-15-5 ポラ/どんぐり103号 TEL・FAX 0282-83-5060

E-mail support@tochigi-jichiken.jp ホームページ <http://tochigi-jichiken.jp>

とちぎの自治を考える集い参加申込・書籍注文書 (上記連絡先あて、Fax 又は E-mail で)

※コロナ感染症対策のため入場者の制限がありますので、予め申し込んでください。

氏 名	住 所	電話番号	集い参加	書籍注文 (1200円/部)
			有 無	部